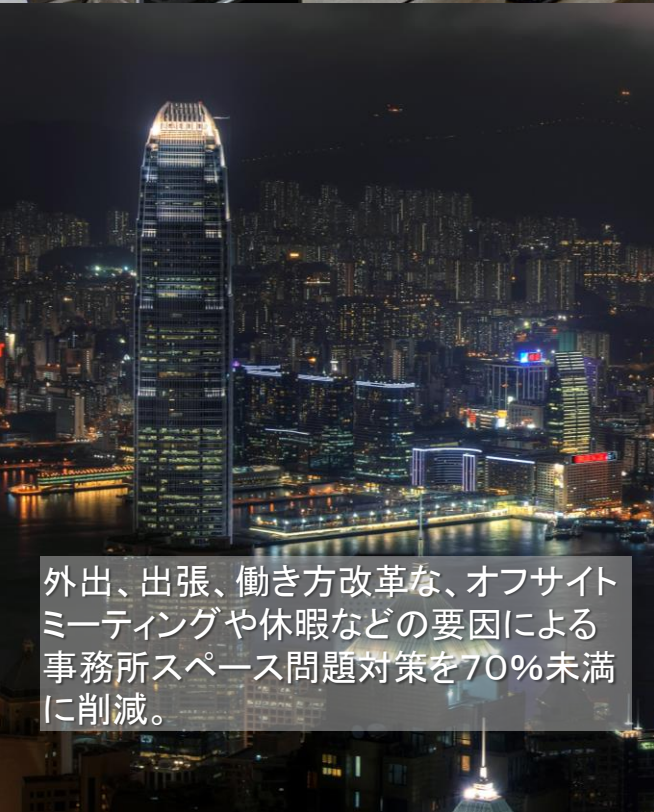




利用率管理ソリューション



外出、出張、働き方改革な、オフサイトミーティングや休暇などの要因による事務所スペース問題対策を70%未満に削減。

事務所を空間として占有率を管理する理由

- オフィス利用の不動産は、企業運営の2番目に大きなコスト。
- 大都市を中心にオフィス賃貸費用は高騰が続いている。
- 企業経営にとって家賃は常に課題。
- 企業成長、組織拡大には事務所費用にかかわらず増員を戦略とする場合を考慮しなくてはならない。
- 賃貸物件の統合やレイアウト変更など、用途に合わせコストを削減、目的にマッチする改善が必須。

Adapptのテクノロジー



スマートデスクセンサーや入退出カウント人感センサーでオフィス利用情報データを収集。

ゲートウェイで収集したデータをサーバーに。

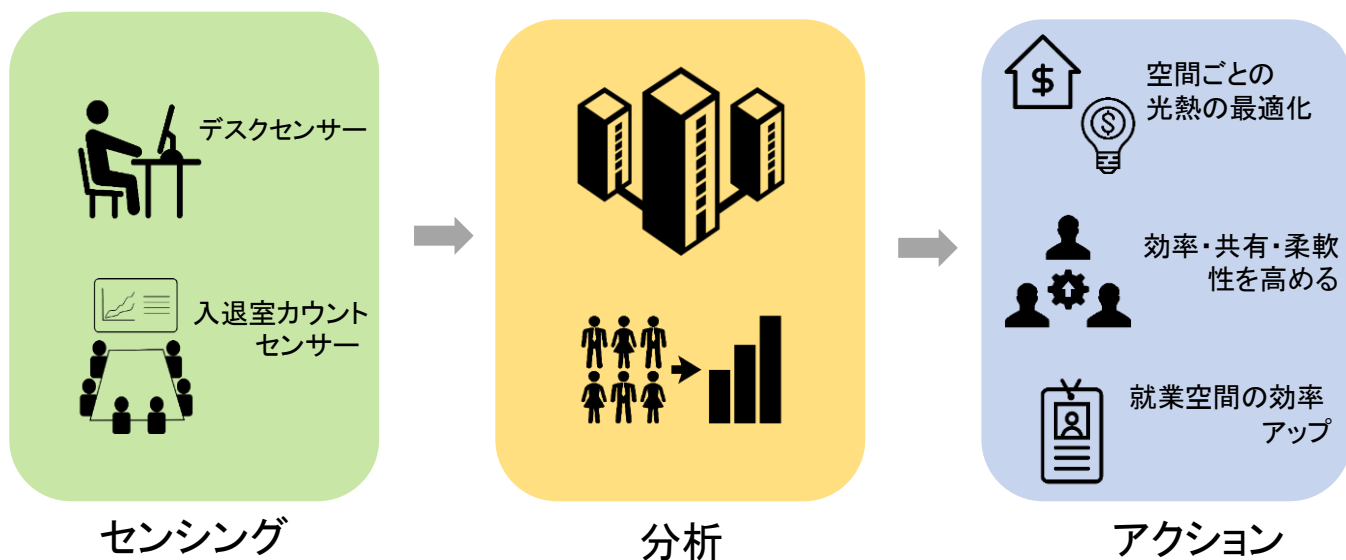
利用状況分析、レポート化。

デスク利用状況確認ソリューション

デスクセンサーは、共用デスクまた利用のないスペースを活用するソリューション。デスク利用状況をデータ収集、利用状況を細かく把握。



ADAPPTで可能な管理



主なメリット

- 全体的なデスク利用率と入退室カウントにより空間利用状況を把握。
- 利用のないデスクを割出すことで利用率を向上させる。就業環境改善、生産性の向上を図る。
- 会議室の利用状況を確認、予約のみで利用のない空室を無くす。
- 細かく利用率を測定することで会議室のサイズまでも最適化するデータとする。
- 温度センサーの併用併用で人の移動、頻りに利用されるスポットを解析。
- オフィスの非生産エリアを特定。
- CADからマップを構成し利用、占有率を複数サイトで比較・確認。

主な製品

ADAPPT デスクセンサー (AS-WON)

デスクセンサー

- デスクセンサーは、共用デスクで利用のない空間管理に活用。デスク利用情報を収集、利用状況を細く解析。

温度、湿度のセンシング

- デスクセンサーは温度・湿度を測定も可能。温度把握は、建物内のホットスポット、湿度把握は、HVAC(暖房、換気、空調) 制御の改善スポットの特定に活用。



Technical Specifications 仕様

Motion Sensing	: Digital Passive IR	Radio Frequency	: 2400-2483.5 MHz	Power Adapter Model	: HKY-Q18
Enclosure	: Recyclable ABS	Protocol	: IEEE802.12.1	Power Input	: AC-100-240V 50-60Hz 1.3A
Operating	: 0°C - 50°C	Wireless Range	: 30 meters	Power Consumption	: <2W
Compliance	: FCC	Open Range Encryption	: AES - 128	Power Compliance	: UL Listed, CE, FCC, RoHS
				Power Efficiency Level	: VI



ADAPPT 人感センサー (AD-WDS)

入退室カウント (利用1)

- Adapptの人感センサーは、出入口天井に配置し入退室を確認。センサで人数把握をすることで出席者数の把握や人の流れの応用解析が可能。

入退室カウント (利用2)

- 会議室収容人数と実際の利用状況を比較。企業は会議室のサイズを再考するデータし、会議室の空き状況も容易に管理。

ADAPPT ホスト (AD-HS)

センサーのゲートウェイ

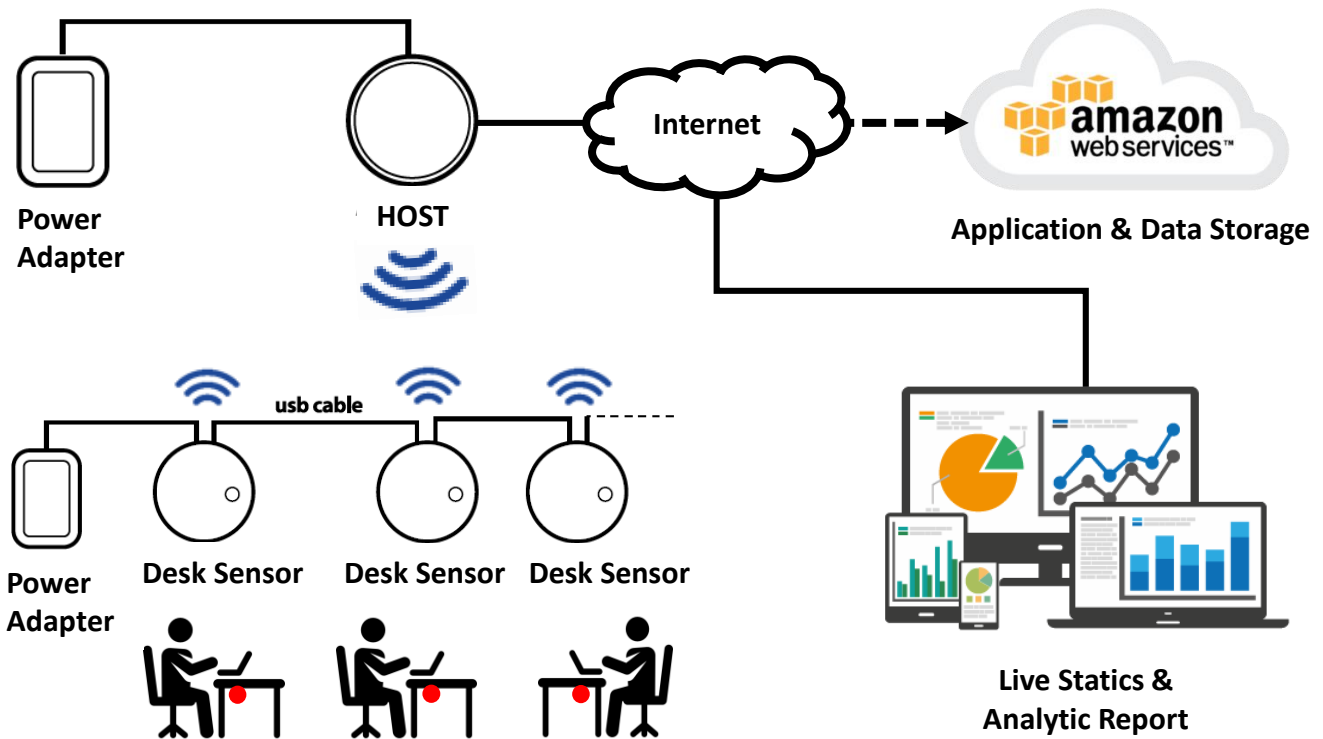
- ADAPTサーバーとネットワークのインターフェイス
- TCP / IPによるセンサーとサーバーのネットワーク間の無線トラフィック(IEEE 802.12.1)を集約。
- 最大65,000センサー/ホストのデータを送受信可能。

配線とオペレーション

- センサ⇄サーバでの情報中継に、フロアに1つ以上のユニットを配置。



構成図



分析とレポート

クラウドによるデータ分析、
オンラインアプリケーションによるレ
ポート

管理ダッシュボード

- リアルタイム管理・確認
- クラウドによる複数リージョンの確認
- 施設全体の統計管理

レイアウト・ビュー

- リアルタイムフロアプラン
- センサーの総稼働状況の確認
- 不具合センサーの検出
- 空間利用状況の確認

分析とレポート

- 利用パターンの分析
- 用途に合ったレポートのカスタマイズ
- デスク利用状況とパターンをチャート表記

